施策マネジメントシート1(26年度目標達成度評価)

作成日 平成 27 年 6 月 30 日 更新日 平成 27 年 6 月 30 日

								- 177			
総合計画	政策No.	2	政策名	みどり豊かな環境と共生するまちつ	づくり		施策統括部 施策主管課	総務部 環境衛生	部長名 課長名		雪丞 刊朗
体系	施策No.	7	施策名	地球温暖化防止対策の推進			関係課	総務課、商工	 振興課、学校 教	数育課、財政 教育課、財政	課
1 施第	の目的と	指標	新政策	Ⅳ 生活環境の健康	施策	23 地	球温暖化防止	対策の推進			
U		対象とし	ているのか) * 人や自然資源等			③ 対象指標(対	対象の大きさを表す指	標)*数字は記入	しない	
市民、	事業所							名科	Γ		単位
						\Rightarrow	A 人口				人
						7	B 事業所数(?	去人数)			事業所
<u> </u>	7/11 /2 / \$ 1:	·		Jirtu O.L.			C				
				いば良いのか)			④ 成果指標係	意図の達成度を表す技	^{旨標)} * 数字は記♪ -	ししない	122 /1
CO200	排出重を少	いよくする	5生店や事業	養活動ができる		_	मार्थक वार संक्रमा	名 科		III.## ared A	単位
						\Rightarrow	A 地球温暖化 (エコライフ	と防止対策に取 など)	双組んでいる	世帯の割合	%
							」 地球温暖化	2防止対策に耳	対組んでいる	事業所の割	%
成果指	標の測定1	(実	際にどのよう	5に実績値を把握するか)			B 合				%
				帯数は市民意識調査にて把握。			。 温室効果な	i スの削減目標	を掲げて取り	0組んでいる	事業所
			- · · · - · · -	暖化防止対策(太陽光発電、太陽熱温フ	K器、節		事業所数				尹業所
	運転等)に取			和疾取犯! マンチーのじょうようしょうば	(4主+5-651-		D				
			いる ②める 組んでいない	程度取組んでいる ③どちらかといえば	傾燃的に		٢				
				。 『業所の割合、C:「温室効果ガスの削減	日煙を掲		E				
				生課が行う市企業等連絡協議会に加入			-				
				エ麻が1777年末安建和1888度に加入 毎年5月に実施。							

2 指標等の推移

指標	崇寺の 票名		単位	数値区分	21年度現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		Α	人	見込み値 実績値		56,281 56,638	56,829 57,367	57,377 58,237	57,925 59,067	58,474
対象	指標	В	事業所	見込み値 実績値		847 874	848 891	849 890	850 928	851
		С		見込み値 実績値						
				成り行き値		70.0	71.5	73.0	74.5	76.0
		Α	%	目標値		70.0	72.0	74.0	76.0	78.0
				実績値	68.0	65.6	66.6	65.2	64.8	
				成り行き値		94.0	94.0	95.0	95.0	96.0
		В	%	目標値		94.0	95.0	96.0	97.0	98.0
				実績値	93.0	96.8	96.2	95.8	89.6	
				成り行き値		10	10	10	11	11
成果	指標	С	事業所	目標値		10	11	11	12	12
				実績値	9	15	12	14	13	
		_		成り行き値 目標値						
		D)	目標値 実績値						
		Е		成り行き値 目標値						
				実績値						
	事務	多事業		本数		5	5	5	6	6
	l	国厂	車支出金	子円 千円		0	0	0	0	0
	財	都道	府県支出金	十円 千円		0	0	0	0	0
	源	ţ	也方債	千円		0	0	0	0	0
施策「事業費	内		その他	千円		1,304	2,071	0	0	1
施策	訳	繰入金		千円		0	0	0	0	0
コ世	Щ	- 404 =	般財源	千円		19,841	20,811	15,067	13,342	6,451
ス		事業費計 (A) 千円			21,145	22,882	15,067	13,342	6,452	
-	(7	A)のうち指定経費 千円			218	67	7	0	0	
1		うち時間外、特殊勤務手当 千円			47	0	7	0	0	
件			美務時間 第二(D)	時間		1,970	1,365	1,496	1,049	1,135
費			計(B)	千円		7,952	5,557	5,960	4,270	4,621
	トータ	ルコス	├ (A)+(E	千円	· Mark Mark 22	29,097	28,439	21,027	17,612 が増えていくものと	11,073 考え、平成27年度

A:地球温暖化に対する認識が高まっており、成り行き値は徐々に取り組みが増えていくものと考え、平成27年月を76.0%に設定した。目標値は、エコまつりやマイバッグ運動、小中学校における環境教育等への取り組みによって、平成27年度を78.0%に設定した。

基本計画期間における施策の目標 設定とその根拠 (水準の理由と前提条件)

B:市企業等連絡協議会等にアンケートを実施した結果、何らかの取り組みをしている事業所の割合は年々増加している。成り行き値は、取り組んだ事業所の割合として平成21年度93.0%の高い結果が出ており、今後も増加していくと考え、平成27年度も96.0%に設定した。目標値は、エコまつり等での啓発により、平成27年度目標値を98.0%に設定した。

C:ISOやエコアクション21等に取り組み、具体的な数値を示すことが必要であるが、事務処理等に時間や労力を要するため取り組みに至っていない事業所が多くある。成り行き値は、環境問題への関心は市民とともに高いものがあると考えられるので、少しずつ取り組みが増えていくものとして、平成27年度を11事業所に設定した。目標値は、環境問題に対する意識や関心の高まり、国の施策、事業所イメージ等により取り組みが増えていくものと考え、平成27年度を12事業所に設定した。

基本計画期間における 施策の方針 ①地球温暖化防止対策に取り組む世帯と事業所をさらに増やし、CO2削減に取り組む。

②小中学校における環境教育を進める。

施策マネジメントシート2(26年度目標達成度評価)

地球温暖化防止対策の推進

3 施策の特性・状況変化・住民意見等

- 【1】この施策の役割分担をどう考えるか(協働による住民と行政の役割分担)
- ア)住民(事業所、地域、団体)の役割(住民が自助でやるべきこと、地域やコミュニティが共助でやるべきこと、行政と協働でやるべきこと)
- ・市民、事業所は、資源の無駄使いをしない。
- ・市民、事業所は太陽光発電、太陽熱温水器、節電、エコ運転等を積極的に行なう。
- ・市民、地域、団体は地球温暖化防止対策(マイバッグ運動等)に取り組む。
- ・地域、団体は地球温暖化防止対策(マイバッグ運動等)の普及・啓発を進める。

イ)行政の役割(市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)

- ・市は、市民への地球温暖化防止対策の普及・啓発を進めると同時に、太陽光発電や節電、エコ自動車への切り替え等、CO2削減に取り組む。
- ・市は、子どもを対象とした環境学習をすすめる。
- ・国、県、市は、市民が行なう地球温暖化防止対策に対し、支援を行なう。

【2】施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は今後どのように変化するか?(平成27年度を見越して)

- ・温暖化に伴い、さらに地球環境は悪化すると予測される。(北極圏を覆う氷が溶ける、生態系の変化等)
- ・平成17年に発効された京都議定書では、事態の深刻さから、「1990年比の-25%削減」という目標を掲げられた。その後、原発事故が起きたため、目標達成が困難になり、国においても明確な目標値が決まらない状態である。今後、原発再稼動に関する議論があるが、自然力を駆使した再生可能エネルギーを育て、リスクにも強い、低炭素の社会を目指すことは間違いなく、再生可能エネルギーの固定買取制度の導入など地球温暖化対策に係る政策とそれを取り巻く産業や国民の生活が大きく変化していくことが予想される。
- ・「太陽光発電の余剰電力買取制度」(住宅などに設置された太陽光発電で発電した電気の買取制度)が平成21年11月から実施されている。また同制度が、平成24年7月から「再生可能エネルギーの固定買取制度」(再生可能エネルギー源の太陽光・風力・水力・地熱・バイオマスを用いて発電された電気の買取制度)に変わる。太陽光発電の買取価格は、現行制度の平成24年4月及び新制度の7月現在では10kw未満の契約で同額の42円/kwであるが、平成25年度以降の新規契約の買取価格は毎年度見直される。買取価格は10年間固定される。
- ・太陽光発電施設の設置数については、熊本県は全国第2位(6.7%)である。国、県とも補助制度を設けて普及に取り組んでいるため、今後も設置数が増えていくものと考えられる。(※1位佐賀県7.3%、3位宮崎県6.4%)
- ・市民アンケートによると、地球温暖化防止に対する関心は高いものの取り組みにまで至っていないが、節約意識の向上やマスコミ等の影響により、徐々に取り組みが進むと予想される。
- ・地球温暖化防止の取り組みについて、環境フェスタの開催やマイバッグ運動、小中学校における環境教育への取り組み等により、事業所や家庭における取り組みがいっそう進むと予想される。
- 業所や家庭における取り組みがいっそう進むと予想される。 ・市民意識の高まりやエコカー(ハイブリット・電気自動車等)の開発と低価格化により登録台数が増えていくことが考えられる。世界でも大型車から小型車(低燃費車)への移行が予想される。
- ・校庭の芝生化については、その利点、不利点を他市事例調査等により研究する。

【3】この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?

- ・議員から、風力発電を実施しないのかいう質問があった。
- ・議員から、公共施設に対する太陽光発電設置の要望があった。
- ・議員及び環境団体から地球温暖化防止啓発のためのエコまつりの継続開催の要望があった。
- ・市民から、太陽光発電の設置補助は無いのかとの問い合わせがあった。
- ・市民ワークショップで、各世帯でのエコへの目的意識を高める必要があるとの意見があった。
- 【平成26年度の施策評価(25年度振り返り)における議会意見】
- 1. バイオマス、自然エネルギー等のさらなる推進が必要。
- 2. 温暖化防止という観点だけでなくエネルギー施策としての意識改革が必要。
- 【平成26年度の施策評価(25年度振り返り)における総合政策審議会意見】
- 1. 市の補助制度の更なる充実を検討すること。
- 2. 環境に対する意識向上を図るため、更なる啓発活動に努めること。
- 3. 新エネルギーの活用と推進を図ること。
- 4. 自然保全に努めること。

4 施策の評価

【1】施策の目標達成度(26年度目標と実績との比較)

- A → ×【 地球温暖化防止対策に取組んでいる世帯の割合(エコライフなど) 】
 - : 目標値76.0%に対し実績値は64.8%であり、達成度は85.3%であった。
- B → ×【 地球温暖化防止対策に取組んでいる事業所の割合 】
 - : 目標値97.0%に対し実績値は89.6%であり、達成度は92.4%であった。
- C → ○【 温室効果ガスの削減目標を掲げて取り組んでいる事業所数 】
 - : 目標値12事業所に対し実績値は13事業所であり、目標は達成できた。

※左記の背景として考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)

- A) 地球温暖化防止対策として、低燃費車両への買換え、消費電力の少ない家電品、照明器具への取替えや買物袋の持参なども地球温暖化防止に取り組んでいると認識していない世帯があると考えられる。
- B) 市企業等連絡協議会会員を対象とした調査結果であり、数値は下がったものの、依然として環境対策への意識の高さが窺える結果となった。
- C) 市企業等連絡協議会等(72社の内48社)にアンケートを実施した結果であり、何らかの取り組みをしている事業所の割合は高率を推移しており、環境への関心が高いことが窺える。

※〇:目標達成 Δ;目標をほぼ達成(<u>-5%) ×;目標を未達成</u>

【2】 施策の振り返り(施策の方針、経営方針の達成度等)

- (1) 平成26年度経営方針である、
- ①「太陽光発電システム設置の促進や照明のLED化の推進を図る。」については、国・県の太陽光発電システム設置助成事業に併せ、平成22年度から太陽光発電システム設置費補助金交付要綱を制定し、3ヵ年の事業として開始した。平成25年度に要綱の一部改正を行ない、継続して取り組めるよう対応した。平成22年度は216件、平成23年度は260件、平成24年度300件、平成25年度212件、平成26年度は221件の交付を行なった。
- ②「CO2排出量削減や地球温暖化対策等エネルギー政策全般に対する意識づくりを行なう。」については、市で取り組める方策として、広報紙に燃やすごみの量を掲載し、ごみ減量化への啓発を行なうとともに、分別、減量、資源化の説明会を実施した。
- (2) 事務事業貢献度評価の結果で、平成26年度施策の成果を向上させるために最も貢献した事務事業は、太陽光発電システム設置補助事業となった。また、貢献した事務事業は、合志市レジ袋削減推進事業となった。

【3】 施策の課題(基本計画期間を見据えて、どのような課題を解決していかなければならないか)

- ・市民アンケートによると、地球温暖化防止に対する関心は高いものの取り組みにまで至っていない。今後は、エコまつり等の事業を開催し、具体的な取り組み(マイバッグ運動等)を推進することにより対策の強化を図る。
- ・事業所でのCO2排出量は、生産活動との関連もあり単純比較は難しいが、機器の取り替え等状況に応じた取り組みを働きかける必要がある。
- ・学校では、環境学習の時間等を利用して地球温暖化防止の取り組みについて教育を充実する必要がある。
- ・学校における校庭の芝生化については、研究結果に基づき、取り組みを検討する。

5	施策の	26年度紀	:果に対す	「る審査結果
---	-----	-------	-------	--------

)政策推進本部での指摘事		
		却
)政策推進本部での指摘事	項(施策目標達成度評価結果	└報告を受けて・・・平成27年7月23日)
		報告を受けて・・・ 平成2/年/月23日)

- ・公共施設のLED化への取り組みが必要。
- ・引き続き各地区防犯灯LED化への推進を図る。
- ・再生可能エネルギーの活用について検討が必要。

② 総合政策審議会での指摘事項(平成27年8月12 日、8月19 日、26日まとめ)

- ・引き続き、ごみの減量化の推進に努めること。
- ・環境に対する意識向上を図るため、エコ学習の推進を図ること。
- ・緑を守る活動に努めること。

③ 議会の行政評価における指摘事項(平成27年9月25日)

・牛糞・豚糞・鶏糞を利用したバイオ発電施設の誘致や、庁用車の低燃費車への切り替えを検討すること。

6 次年度に向けた取り組み方針

● 政策推進本部 平成28年度合志市経営方針(平成27年10月5日)

- 1. 引き続き、バイオマス発電事業など再生可能エネルギーの活用について検討する。
- 2. 公共施設への太陽光発電設備の設置やLED化に向けた検討をする。
- 3. 引き続き、市民にCO2排出量削減や地球温暖化対策全般に対する意識づくりを行なう。
- 4. 引き続き、地区防犯灯をLED化に向けて推進する。

施策マネジメントシート3(26年度目標達成度評価)

大きないのである。		18 地球	温暖化防	ち止への意識	の高揚			基本基	事業担当課 環境	衛生課	
## (1995年) 現状 (1995年) 現状 (1995年) 現状 (1995年) 現状 (1995年) 現状 (1995年) (対象	市民、事業所	f				意図	地球温	L暖化に関心を高	めてもらう	
新来歌歌神代節心を持つ 15 15 15 15 15 15 15 1		·標名	単位	数值区分		23年度	24年度		 25年度	26年度	 27年度
大本計画期間に対ける本本事象の目無数を大体観光の組出と前接条約	Δ		%				(89.5)			.	(91.0) 93.0
基本計画期間における基本事業の目標設定(水東及定の理由と前提条件)		•		(成り行き値)目標値	88.3	85.1		84.0	83.7	81.3	
** 本計画期間における基本事の目標形度、水準放棄の理由と動類条件 ** 本式の程度では、頭打り込みでいるが、国本学のであらなたでは、でしまり、すっしは海域を含みて、全電空年度の殴り古色症を91.0%に設定した。				(成り行き値)目標値							
平成21年度では、現打らたでいるが、国の県の野帯したおけ、でくおり、下こしは物かすると考え、平成27年度の10円分積を21.0%に設定した。 様値については、エキュラのやマイケン学館他とジを接触、中中では20分類を含まれる場合を表を発を使用することで、平成27年度の目積積を30.0%に対した。 基本事業の23年度の最少選り(目着遺成度腎部)と23年度に向けての課題 3 市民、事実所に対ける本事学への限しは対立が100元件で高限へのの、年を減少する傾向にある。多量する風水音やグリア豪間等によって地球理 が出たが最かまたけないが、地球理様の問題というともめ、限からが高まっていかないのが実情である。来年度に向けては、イントや自治合会活動 が高し、経過して合意欲の高揚に多めでいく。そのためレンジ税制級の取り組み(レジ級の有料化、マイバックの特象)、小中学校(23)1万環境資金等に 原を活動を指数して合意欲の高揚に多めでいく。そのためレンジ税制域の取り組み(レジ級の有料化、マイバックの特象)、小中学校(23)1万環境資金等に 原を活動を指数して行なっていく必要がある。また、エコまつりは、平成26年度市秋祭りと同時開催したことにより、約15,000人の東場者を得て、 RC を名動を経過して行なっていく必要がある。また、エコまつりは、平成26年度市秋祭りと同時開催したことにより、約15,000人の東場者を得て、 RC を表が多数に関いけますに取り、 が別れている事業がの割 の				実績値							
議案者的多機能して行なっていく必要がある。また、エコまつけは、平成26年度市款祭りと同時開催したことにより、約15,000人の来場者を得て、まなた人に意識を広めることができた。 基本事業名 19 地球温暖化防止活動の座進	は:平成21年度では 目標値については をした。 3 基本事業の2 A)市民、事業所 受化が懸念され	は、頭打ちとな は、エコまつり [®] 6年度の振り返 所における本 いてはいるが、	っている ママイバッ り(目標 事業への 地球規	が、国や県の ッグ運動(レシ 達成度評価 の関心はかい 模の問題と)啓発もなされ ・袋削減)、小「)と28年度に向 なりの水準で いうこともあり	てきており、すこした 中学校における環境 」けての課題 高いものの、年々 、関心が高まって	意教育等による 減少する傾向 いかないのが	啓発活 可にある 実情で	動を展開すること る。多発する風力 である。来年度に	で、平成27年度の目標 (本学) で、平成27年度の目標 (本学) で、平成27年度の目標 (本学) で、平成27年度の目標 (本学) で、イベント	票値を93.0%に設 こよって地球温 や自治会活動等
成果指標名 単位 数値区分 21年度 23年度 23年度 25年度 25年度 26年度 27年度 日本温度化防止対策に限	る啓発活動を維 様々な人に意識	継続して行なっ 戦を広めること 	っていく』 :ができた	必要がある。 た。 	また、エコま	つりは、平成26年	度市秋祭りと	同時開	催したことにより)、約15,000人の来り	場者を得て、
# 地球温暖化防止対策に取	対象	市民、事業所	Ť				意図	地球温	暖化防止対策に	取り組んでもらう	
# 映球温暖化に防止対策に取		 i標名	単位	数值区分		23年度	24年度		 25年度	26年度	 27年度
地球温暖化防止対策に取				(成り行き値)目標値	<u> 現状</u> 個	(70.0) 70.0	(71.5)	72.0	(73.0) 74.0	(74.5) 76.0	(76.0) 78.0
実験値 93.0 96.8 96.2 95.8 89.6			%			65.6				64.8	
金本計画期間における基本事業の目標設定(水準設定の理由と前提条件) 地球温暖化に対する知識が高まっており、成り行き値としては徐々に取り組みが増えていくものと考え、平成27年度76.0%と設定した。目標値は、エコ祭りやマイッグ運動、小中学校における環境教育等により具体的な取り組みを進めてもらうことによって、平成27年度78.0%に設定した。市企業等連絡協議会等にアンケートを実施した着まであり、何らかの取り組みをせている事業所の割合が成でまる。成り行き値は、取り組んだ事業所の書として平成21年度93.0%の高い結果が出ており、今後も増加していくと考え、平成27年度も96.0%に設定した。目標値では、エコまつり等での啓発により、平成27年度18.0%に設定した。とまず裏の28年度の最少返り「自標達成皮評価」と28年度に向けての課題 1 地球温暖化に関心を持つ市民の割合が低でするのに伴い、防止対策に取り組んでいる世帯の割合も減少する傾向にある。目標値に対する実績の割合も年々開いており、平成26年度は目標値を10ポイント以上下回った。東年度に向けては、これまで同様、レジ袋削減の取り組みしいジ袋の存化、マイバッグの持参)、小中学校における環境教育等により、関心や意識を高めるととは、取り組みの具現化をいっそう促進する。また、エコまでを昨年同様、秋祭りと合同開催し、啓発する相手数(集客数)を増やすことによって、機運の盛り上げを図る。)事業所の割合も世帯の割合と同様、平成25年度から巻さいるが、9.58%から89.6%~と大きく低下している。事業所の場合、景気の動向に左右れる恐れがあるが、来年度に向けて国や現の取り組みとあわせ、啓発の働きかけを強化していく。 基本事業名 基本事業担当課 基本事業担当課 基本事業担当課 第600年第10日代 第7年度 第			0/2			(94.0) 94.0			(95.0) 96.0	(95.0) 97.0	(96.0) 98.0
 基本計画期間における基本事業の目標股定(水準股定の理由と前提条件) 地球温暖化に対する知識が高まっており、成り行き値としては徐々に取り組みが増えていくものと考え、平成27年度78.0%に設定した。目標値は、エコ祭りやマイック運動、小中学校における環境教育等により具体的な取り組みを建めている事業所の割合は年々増加している。成り行き値は、取り組んだ事業所の書として平成21年度98.0%に設定した。目標値では、エコまつり等での啓発により、平成27年度196.0%に設定した。目標値では、エコまつり等での啓発により、平成27年度18.0%に設定した。目標値では、エコまつり等での啓発により、平成27年度18歳を98.0%に設定した。目標値では、エコまつり等での啓発により、平成27年度18歳を98.0%に設定した。目標値では、エコまつり等での啓発により、平成27年度18歳を98.0%に設定した。目標値では、エコまつり等での啓発により、平成27年度18歳を98.0%と設定した。目標値では、エコまつり等での啓発により、平成27日間標を98.0%と設定した。目標値では、エコまつり等での啓発により、平成27日間標の割合が低下するのに伴い、防止対策に取り組んでいる世帯の割合も減しと多値削減の取り組みしいが袋の利化、マイペッグの持参)、小中学校における環境教育等により、関心や意識を高めるとともに、取り組みの具現化をいっそう促進する。また、エコまで申年同様、秋祭りと合同開催、啓発する相手数(集客数)を増やすことによって、機運の盛り上げを図る。)事業所の割合と同様、平成25年度から落ちているが、95.8%から89.6%のとよく低下している。事業所の場合、景気の動向に左右れる恐れがあるが、来年度に向けて国や県の取り組みとあわせ、啓発の働きかけを強化していく。 基本事業担当課 対象 産の計画の表別を発生しまります。 産の計画の書の表別を介えるとは、取り組みとあわせ、啓発の働きかけを強化していく。事業所の場合、景気の動向に左右れる恐れがあるが、来年度に向けて国や県の取り組みとあわせ、啓発の働きかけを強化していく。 基本事業担当課 産の計画の書の表別を介えるとは、取り組みとあわせ、啓発の働きかけを強化していく。事業所の場合、景気の動向に左右れる恐れがあるが、来年度に向けて国や県の取り組みとあわせ、啓発の働きかけを強化している。事業所の場合、景気の動向に左右れる恐れがあるが、来年度に向けて国や県の取り組みとあわせ、啓発の働きかけを強化している。事業所の場合、景気の動向に左右れる恐れが高います。 産の計画の書の表別を介えるといることを表します。 産の計画の書の表別を介えるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといる		プチボバッカ!	/0	実績値	93.0	96.8		96.2	95.8	89.6	
:地球温暖化に対する知識が高まっており、成り行き値としては徐々に取り組みが増えていくものと考え、平成27年度76.0%と設定した。目標値は、エコ祭りやマイシグ運動、小中学校における環境教育等により具体的な取り組みを進めても6うことによって、平成27年度78.0%に設定した。成り行き値は、取り組んだ事業所の書かとして平成21年度93.0%の高い結果が出ており、今後も増加していくと考え、平成27年度も96.0%に設定した。目標値では、エコまつり等での啓発により、平成27年度目標を98.0%に設定した。目標値では、エコまつり等での啓発により、平成27年度目標を98.0%に設定した。目標値では、エコまつり等での啓発により、平成27年度目標を98.0%に設定した。目標値では、エコまつり等での啓発により、平成27年度目標を98.0%に設定した。目標値では、エコまつり等での啓発により、平成27年度目標を98.0%に設定した。目標値では、エコまつり等での啓発により、平成27年度12月での課題。 3 世界温暖化に関心を持つ市民の割合が低下するのに伴い、防止対策に取り組んでいる世帯の割合も減少する傾向にある。目標値に対する実績値の割合も年々開いており、平成26年度は目標値を10ポイント以上下回った。来年度に向けでは、これまで同様、レジ袋削減の取り組み(レジ袋の者により)、外中学校における対象有等により、関心や意能を高めるとともに、取り組みの具現化をいつそう促進する。また、エコまつを昨年同様、秋祭9と合同開催し、啓発する相手数(集客数)を増やすことによって、機運の盛り上げを図る。)事業所の割合と同様、平成25年度から落ちているが、95.8%から89.6%へと大きく低下している。事業所の場合、景気の動向に左右治え忍れがあるが、来年度に向けて国や県の取り組みとあわせ、啓発の働きかけを強化していく。 基本事業名	2										
成果指標名 単位 数値区分 21年度 現状値	# + + + + + + + + + + + + + + + + + + +										
成果指標名 単位 数値区分 21年度 現状値 23年度 24年度 25年度 26年度 27年度 A 「成り行き億日標億 実績値 「成り行き億日 「成り行き	は、地球温暖化に ベッグ運動、小中 は、中企業等連動、小中 は、中企業等連絡 をとして平成21年 を目標を98.0%は は、地球温暖化 直の割合も年々 は、一、中では、 は、一、中では、 は、一、大きには、 は、これには、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	対する知識が高 学校における 協議会等にアン 主度93.0%の高 こ設定した。 6年度の振り返 に関心を持って 、別いており、 が外祭りと合同制 合も世帯の割	環境教育を対しています。 (4)(目標の下記を) では、 (4)(目標の下成26 校)、 関係と同様のという。 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	子等により具体 シ実施した結果 が出ており、今 達成度評価 割合が低下標 におけるは目環 における現 を発する目 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(特別では、10 年間では、10 上28年度に向けるのでは、10 上28年度に向けるのでは、10 ポイン・ (本名) (本名) (本名) (本名) (本名) (本名) (本名) (本名)	を進めてもらうことにかの取り組みをしていくと考え、平成27- いくと考え、平成27- のでは、 のでは、 のでは、 では、 はり、 関心や意識を はり、 関心やすことに、 でいるが、 95.8% でいるが、 95.8%	こよって、平成2 いる事業所の9 年度も96.0%に り組んでいる 来年度に向い と高めるととも よって、機運の から89.6%へ	27年度で 割合は 型 世 す に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	78.0%に設定した 年々増加している。 た。目標値では、 か割合も減少する。 、これまで同様、 り組みの具現化 上げを図る。 く低下している。	。。成り行き値は、取り終 エコまつり等での啓列 が傾向にある。目標値 レジ袋削減の取り終 をいっそう促進する	且んだ事業所の割 をにより、平成27年 直に対する実績 且み(レジ袋の有 。また、エコまつ
成果指標名 単位 数値区分 現状値 23年度 24年度 25年度 26年度 27年度 A (成り行き億)目標億 実績値 (成り行き億)目標億 実績値 (成り行き億)目標億 実績値 (成り行き億)目標億 実績値 (成り行き億)目標億 (成り行き億)日標億 (成り行を億)日標億 (成り行を億)日度 (成り行を修)日度 (成り行を修)日度 (成り行を修)日度 (成り行を修)日度 (成り行を修)日度 (成り行を修)日度 (成り行を修)日度 (成り行を修)日度 (成り行を修)日度<	::地球温暖化に バッグ運動、小中 ボッグ運動、小中 高として業等連及21年 を目標を98.0% 基本事業の2 (1) 地球合もイット が化、マー同様、割り がと昨年所のある。 本事業名	対する知識が高 学校における 協議会等にアン 主度93.0%の高 こ設定した。 6年度の振り返 に関心を持って 、別いており、 が外祭りと合同制 合も世帯の割	環境教育を対しています。 (4)(目標の下記を) では、 (4)(目標の下成26 校)、 関係と同様のという。 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	子等により具体 シ実施した結果 が出ており、今 達成度評価 割合が低下標 におけるは目環 における現 を発する目 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(特別では、10 年間では、10 上28年度に向けるのでは、10 上28年度に向けるのでは、10 ポイン・ (本名) (本名) (本名) (本名) (本名) (本名) (本名) (本名)	を進めてもらうことにかの取り組みをしていくと考え、平成27- いくと考え、平成27- のでは、 のでは、 のでは、 では、 はり、 関心や意識を はり、 関心やすことに、 でいるが、 95.8% でいるが、 95.8%	こよって、平成2 いる事業所の3 年度も96.0%に り組んでいる 来年度にとも よって、機運へ から89.6%へ かけを強化し	27年度で 割合は 型 世 す に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	78.0%に設定した 年々増加している。 た。目標値では、 か割合も減少する。 、これまで同様、 り組みの具現化 上げを図る。 く低下している。	。。成り行き値は、取り終 エコまつり等での啓列 が傾向にある。目標値 レジ袋削減の取り終 をいっそう促進する	且んだ事業所の割 をにより、平成27年 直に対する実績 且み(レジ袋の有 。また、エコまつ
A 実績値 B (成以行き他)目標框 実績値 C (成以行き他)目標框 実績値	::地球温暖化に バッグ運動、小中 ボッグ運動、小中 高として業等連及21年 を目標を98.0% 基本事業の2 (1) 地球合もイット が化、マー同様、割り がと昨年所のある。 本事業名	対する知識が高 学校における 協議会等にアン 主度93.0%の高 こ設定した。 6年度の振り返 に関心を持って 、別いており、 が外祭りと合同制 合も世帯の割	環境教育を対しています。 (4)(目標の下記を) では、 (4)(目標の下成26 校)、 関係と同様のという。 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	子等により具体 シ実施した結果 が出ており、今 達成度評価 割合が低下標 におけるは目環 における現 を発する目 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(本) は (本) は (本) は (本) は (本) は (本) が (本	を進めてもらうことにかの取り組みをしていくと考え、平成27- いくと考え、平成27- のでは、 のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	こよって、平成2 いる事業所の3 年度も96.0%に り組んでいる 来年度にとも よって、機運へ から89.6%へ かけを強化し	27年度で 割合は 型 世 す に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	78.0%に設定した 年々増加している。 た。目標値では、 か割合も減少する。 、これまで同様、 り組みの具現化 上げを図る。 く低下している。	。。成り行き値は、取り終 エコまつり等での啓列 が傾向にある。目標値 レジ袋削減の取り終 をいっそう促進する	且んだ事業所の割 をにより、平成27年 直に対する実績 且み(レジ袋の有 。また、エコまつ
B 実績値 C (成以行合值)目標值 実績値	::地球温暖化に バッグ運動、小中 :市企業等連数、小中 おとして平成21年 を目標を98.0%(基本事業の2 (1) 地球温暖化 直の割合も年々 対・を昨年同様、、 (3) 事業別の割られる恐れがあ 基本事業名	対する知識が高いでは、対する知識が高いでは、対する知識が高いでは、は、対象では、では、対象では、では、対象を持って、対象を持って、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは	環境を持ちます。 単一 では 1 年 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	(学により具体と実施した結果が出ており、全 速成度評価でいまり、全 連成度評価ではいるがは、 割度はいるではいるでは、 においるでは、 においるでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	はいな取り組み果であり、何らい。 後も増加して のと28年度に応するでは、 であり、何らいでは、 でも増加して でもでは、 でを10ポギーに、 がまでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	を進めてもらうことにかの取り組みをしていくと考え、平成27個十 ての課題 ハ、防止対策に取か、防止対策に取け、関心や意識をは、とり、関心や意識をは、を増やすいるが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%であるが、95.	こよって、平成2 いる事業所の3 年度も96.0%に り組んでいる 来年度ににも よっるととも よった89.6%へ かけを強化し	27年度で 割合は に 設定 世帯で に い と て い と て い と 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	78.0%に設定した 年々増加している。 た。目標値では、)割合も減少する。 、これまで具現化 上げを図る。 く低下している。 大低下している。 ま業担当課	。。成り行き値は、取り終 エコまつり等での啓す が傾向にある。目標低 レジ袋削減の取り終 をいっそう促進する 事業所の場合、景気	組んだ事業所の割 をにより、平成27年 直に対する実績 且み(レジ袋の有 。また、エコまつ 気の動向に左右
C 実績値	::地球温暖化に バッグ運動、小中 :市企業等連及1年 を18として平成21年 を18として平成21年 を18として平成21年 は19年のでは、18との割られて「一般では、18)。 を19年のでは、18)。 本事業の2 いか割られて「一般では、18)。 本事業名 対象 成果指	対する知識が高いでは、対する知識が高いでは、対する知識が高いでは、は、対象では、では、対象では、では、対象を持って、対象を持って、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは	環境を持ちます。 単一 では 1 年 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	等により具体と実施したおり、今 連成度評価におり、今 割合がは目のが低下年におけるがは目のでははいる。 等ではいる。 第一位では、 第一位では 第一位では 第一位では 第一位で 第一位で 第一位で 第一位で 第一位で 第一位で 第一位で 第一位で 第一位で 第一位で 第一位で 第一位で 第一位を 第一位を 第一位を 第一位を 第一位を 第一位 第一位	はいな取り組み果であり、何らい。 後も増加して のと28年度に応するでは、 であり、何らいでは、 でも増加して でもでは、 でを10ポギーに、 がまでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	を進めてもらうことにかの取り組みをしていくと考え、平成27個十 ての課題 ハ、防止対策に取か、防止対策に取け、関心や意識をは、とり、関心や意識をは、を増やすいるが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%であるが、95.	こよって、平成2 いる事業所の3 年度も96.0%に り組んでいる 来年度ににも よっるととも よった89.6%へ かけを強化し	27年度で 割合は に 設定 世帯で に い と て い と て い と 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	78.0%に設定した 年々増加している。 た。目標値では、)割合も減少する。 、これまで具現化 上げを図る。 く低下している。 大低下している。 ま業担当課	。。成り行き値は、取り終 エコまつり等での啓す が傾向にある。目標低 レジ袋削減の取り終 をいっそう促進する 事業所の場合、景気	組んだ事業所の割 をにより、平成27年 直に対する実績 且み(レジ袋の有 。また、エコまつ 気の動向に左右
基本計画期間における基本事業の目標設定(水準設定の理由と前提条件)	::地球温暖化にバッグ運動、連続では、中華では、1年では、中華では、1年ででは、1年ででは、1年ででは、1年では、1年では、1年では、1年では	対する知識が高いでは、対する知識が高いでは、対する知識が高いでは、は、対象では、では、対象では、では、対象を持って、対象を持って、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは	環境を持ちます。 単一 では 1 年 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	等により具体 主実施したおり、 達成度評価 割合が目のでははいる。 割合がは目のではいる。 割をはいるのではないでは、 では、 数値区分 「成り行き側の目標館」 実績値 「成り行き側の目標館」 実績値 「成り行き側の目標館」 「実績値 「成り行き側の目標館」 「実績値	はいな取り組み果であり、何らい。 後も増加して のと28年度に応するでは、 であり、何らいでは、 でも増加して でもでは、 でを10ポギーに、 がまでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	を進めてもらうことにかの取り組みをしていくと考え、平成27個十 ての課題 ハ、防止対策に取か、防止対策に取け、関心や意識をは、とり、関心や意識をは、を増やすいるが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%であるが、95.	こよって、平成2 いる事業所の3 年度も96.0%に り組んでいる 来年度にには を高めるとともよった。機運で から89.6%へ かけを強化し	27年度で 割合は に 設定 世帯で に い と て い と て い と 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	78.0%に設定した 年々増加している。 た。目標値では、)割合も減少する。 、これまで具現化 上げを図る。 く低下している。 大低下している。 ま業担当課	。。成り行き値は、取り終 エコまつり等での啓す が傾向にある。目標低 レジ袋削減の取り終 をいっそう促進する 事業所の場合、景気	組んだ事業所の割 をにより、平成27年 直に対する実績 且み(レジ袋の有 。また、エコまつ 気の動向に左右
ETHIDMIN-007 CETTAVE MEC WITHCOMENTY	は、地球温暖化に バッグ運動、小中 に、かりで運動、小中 に、かりで運動、小中 に、かりでででは、14 をででででする。のでは は、本事業の2 (1) 世球温色もイー が、18 が、18 が、18 本事業名 対象 成果指 A	対する知識が高いでは、対する知識が高いでは、対する知識が高いでは、は、対象では、では、対象では、では、対象を持って、対象を持って、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは	環境を持ちます。 単一 では 1 年 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	学により具体と実施したおり、 連成度評価におり、 連成度評価におり、 単位におり、 第一年におり、 第一年におり、 数値におりる 第二年の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	はいな取り組み果であり、何らい。 後も増加して のと28年度に応するでは、 であり、何らいでは、 でも増加して でもでは、 でを10ポギーに、 がまでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	を進めてもらうことにかの取り組みをしていくと考え、平成27個十 ての課題 ハ、防止対策に取か、防止対策に取け、関心や意識をは、とり、関心や意識をは、を増やすいるが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%でしているが、95.8%であるが、95.	こよって、平成2 いる事業所の3 年度も96.0%に り組んでいる 来年度にには を高めるとともよった。機運で から89.6%へ かけを強化し	27年度で 割合は に 設定 世帯で に い と て い と て い と 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	78.0%に設定した 年々増加している。 た。目標値では、)割合も減少する。 、これまで具現化 上げを図る。 く低下している。 大低下している。 ま業担当課	。。成り行き値は、取り終 エコまつり等での啓す が傾向にある。目標低 レジ袋削減の取り終 をいっそう促進する 事業所の場合、景気	組んだ事業所の割 をにより、平成27年 直に対する実績 且み(レジ袋の有 。また、エコまつ 気の動向に左右
	::地球温暖化にバッグ運動、水準温暖化にバッグ運動、小車のでは、中産業等を98.0%に基本事業の2と、1、地割のでは、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	対する知識が高い。 中学校に等にアントライン は は で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	環境・201 (目標の) (日標の) (日報の) (日報の	学により具体と実施したおり、 達成度評価におり、 達成度評価におり、 一達成度評価におり、 一達成度評価におり、 年におけずな25年 (成り行き値)目標値 実積値 (成り行き値)目標値 実積値 (成り行き値)目標値 実積値	時のな取り組み果であり、何らい。 大きも増加して のと28年度に応するを10ポートでは、 であり、何らいでは、 でも増加して でも増加して でを10ポートでは、 手度からない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	を進めてもらうことにかの取り組みをしていくと考え、平成27個けての課題い、防止対策に取い、以上下回った。より、関心やすことにているが、95.8%についるが、95.8%についるが、95.8%についるが、95.8%についるが、95.8%についるが、95.8%についるが、95.8%についるが、95.8%についるが、95.8%についるが、95.8%についるが、95.8%についるが、95.8%についるが、95.8%についるが、95.8%についるが、95.8%についているが、95.8%についているが、95.8%についているが、95.8%についているが、95.8%についているが、95.8%についているが、95.8%についている。	こよって、平成2 いる事業所の3 年度も96.0%に り組んでいる 来年度にには を高めるとともよった。機運で から89.6%へ かけを強化し	27年度で 割合は に 設定 世帯で に い と て い と て い と 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	78.0%に設定した 年々増加している。 た。目標値では、)割合も減少する。 、これまで具現化 上げを図る。 く低下している。 大低下している。 ま業担当課	。。成り行き値は、取り終 エコまつり等での啓す が傾向にある。目標低 レジ袋削減の取り終 をいっそう促進する 事業所の場合、景気	組んだ事業所の割 をにより、平成27年 直に対する実績 且み(レジ袋の有 。また、エコまつ 気の動向に左右